



高速ブランクス検査装置



紙器・段ボール箱

関連企業の首脳が語る

2020年の展望



ダックエンジニアリング株式会社  
代表取締役社長 氷上好孝氏

生産方法の改革となるべき年として不良品を作らない、人手不足解消100%良品保証の検査装置を提供し業界の発展に貢献

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

消費者の印刷物、包装製品に関する厳しい品質要求に加え、原材料の高騰、人手不足や働き方改革、印刷物の小ロット・多品種の増加、短納期という課題、廃プラという環境問題がより厳しくクローズアップされています。DACの検査システムは不良発見に留まらず、欠陥情報を分析し、問題点の『見える化』を行い、検査データを有効活用し、改善策を実行することにより不良を作らないという「攻め」の品質管理システムをご提案しております。

印刷現場でのお困りごととして「おお客様の入稿データ」と「刷出し」が同じものであるか？ それを解決する刷出し抜き取り用ハイブリッド検査装置MERCY-touchは全数検査前に検査マスターデータと入稿データからRIP出力したデジタル

データとの比較を行います。正しいマスターでなければ、全数全面検査は意味がありません。刷り出し時の目視検査を自動化し、人為的なミスを防止します。印刷検査装置Trinityは高精度ラインセンサーにてライン上での印刷物を撮像し、画像検査技術によりプリセットにマスター画像から見当計測、色濃度検査を行います。見当合わせやインキ濃度調整等の印刷準備時間を短縮し、熟練オペレータでなくても、段取り替えを効率良く、しかも一定の品質基準を保つことができます。生産時は図柄検査だけでなく色濃度、見当ズレも同時にチェックし、印刷機にフィードバックすることで安定した印刷品質を実現します。現場の人手不足を解消し、生産効率向上で生産数を増やします。結果として不良品の廃棄量が減少しますので、原材料のコスト削減と同時に環境負荷の

低減を促進いたします。

自動車業界では自動ブレーキシステムなど、安全に対する夢が次々と現実化してきています。世界経済の先行き不透明感が強まっている中だからこそ、未来の生産現場の自動化やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）は少子高齢化の日本で必要とされるのです。デジタル画像ファイリングシステムGalleryはAIを活用した検査技術とIoTとの連携により生産現場のスマートファクトリー化を推進します。

本年は生産方法の改革となるキックオフの年となると思います。不良品を作らない・人手不足解消と100%良品保証に貢献する検査装置をご提供し、印刷・包装・パッケージ業界のますますの発展に貢献していきたいと願っております。

全国の印刷関連企業様のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



小型枚葉検査装置 FENIX



段ボール印刷検査装置カメラボックス